



証券コード: 7963

平成29年12月期 決算説明資料

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

営業の経過及び成果

当連結会計年度(平成29年1月～12月)における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、緩やかな景気回復基調が続きましたが、欧米の政策動向に伴う世界経済の不確実性や地政学的リスクが及ぼす影響などへの懸念により、先行き不透明な状況が変わらずに推移しました。

このような経営環境の中、当社グループは『クリーン、ヘルス、セーフティ』の各市場に対して積極的な事業展開を継続して実施した結果、マスク関連事業、その他事業(環境関連事業等を含む)ともに前連結会計年度実績を上回る成果が得られ、売上高は84億59百万円(前連結会計年度比6.6%増)となりました。

利益につきましては、原材料費や輸送費が上昇する中、調達最適化、生産の効率化、その他業務全般の合理化に注力した結果、営業利益7億25百万円(同14.4%増)、経常利益6億62百万円(同19.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億92百万円(同26.9%増)となり、各利益ともに前連結会計年度実績を上回りました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(マスク関連事業)

当事業の主要顧客である国内製造業は、総じて設備、雇用、生産ともに増勢傾向にあり、これを防じんマスク、防毒マスクの販売増につなげました。また医療機関用並びに一般個人用の使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズの販売も堅調に推移し、特に中国の大気汚染対策用の売上が大きく伸びました。

これにより、前連結会計年度増収に寄与したリフラクトリーセラミックファイバー対策用の電動ファン付き呼吸用保護具「ブレスリンク」シリーズの反動減収分をカバーし、当事業の売上高は75億84百万円(同6.6%増)となりました。

(その他事業／環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、『アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)』を訴求する営業活動を積極的に展開した結果、革新的技術の認知度が高まり、短期間の検討で受注につながる事例も増えました。不妊治療専門医療機関、NASA(アメリカ航空宇宙局)での採用、射出成形環境のクリーン化への活用など、販売分野、市場は着実に拡大し、納入件数は前連結会計年度実績の1.4倍となりました。

これにより、当事業の売上高は8億75百万円(同6.3%増)となりました。

業績の概要（連結）

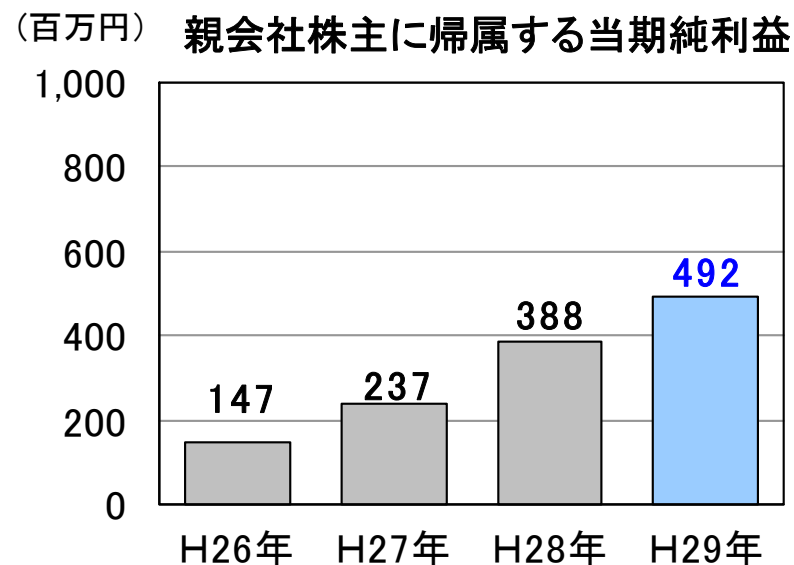
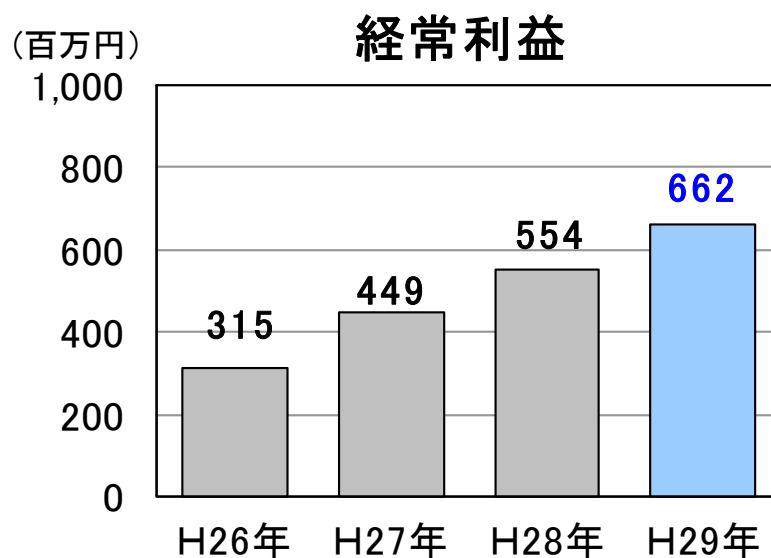
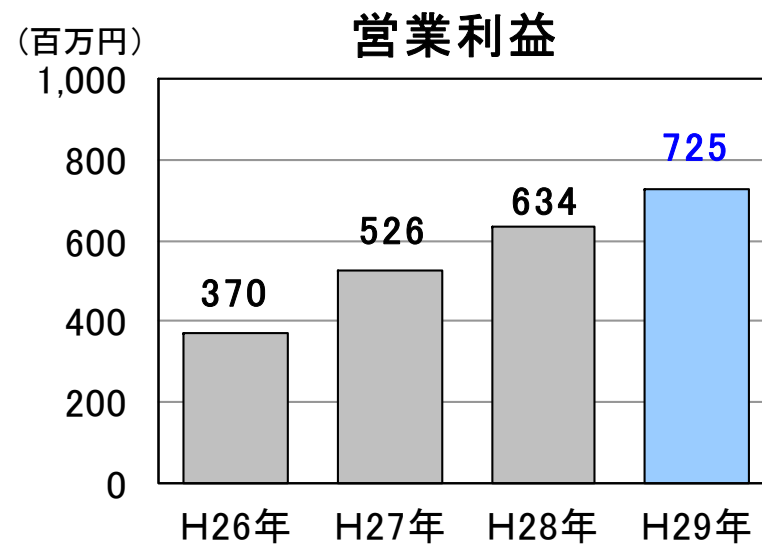
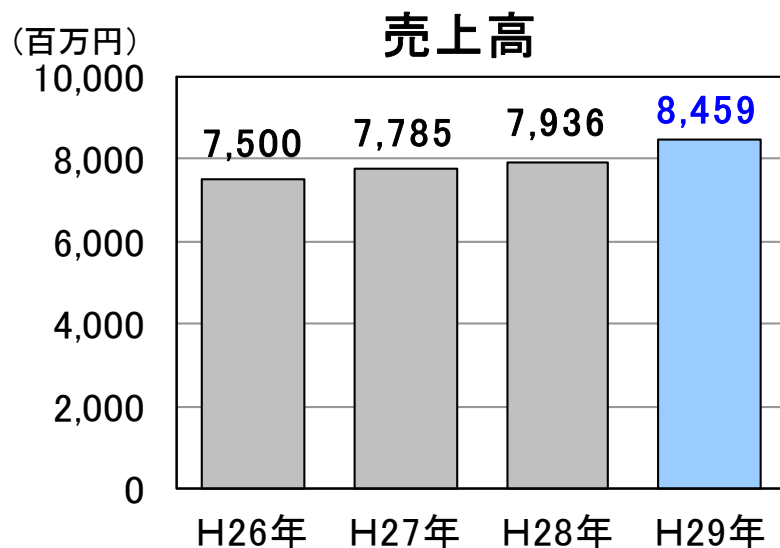
（単位：百万円／端数切り捨て）

	平成28年12月期		平成29年12月期	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
売上高	7,936	100.0	8,459	100.0
売上総利益	3,764	47.4	4,065	48.1
営業利益	634	8.0	725	8.6
経常利益	554	7.0	662	7.8
親会社株主に帰属する当期純利益	388	4.9	492	5.8
1株当たり当期純利益(円)	77.23	—	98.19	—

	平成28年12月末	平成29年12月末
総資産	16,504	17,354
負債	7,500	7,926
純資産	9,004	9,428
自己資本比率(%)	54.2	54.0
1株当たり純資産(円)	1,783.40	1,867.80

売上高・利益の推移

(単位: 百万円 / 端数切り捨て)

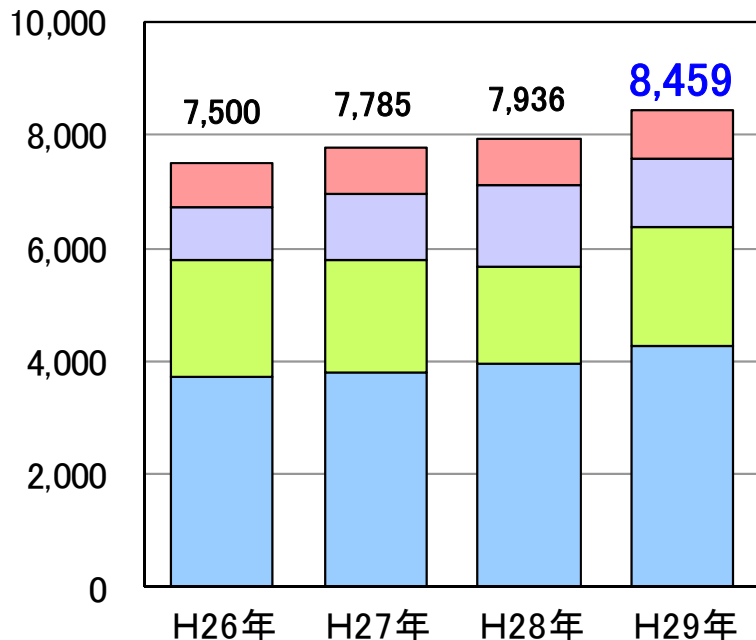


※平成26年12月期より、連結決算に移行しております。

セグメント別売上高の推移

(百万円)

(単位:百万円/端数切り捨て)



事業の状況	
<p>マスク関連事業 (■ 防じんマスク、■ 防毒マスク、■ マスク関連その他製品) 産業用の防じん・防毒マスクの販売増に加え、医療機関用並びに一般個人用の使い捨て式マスクの販売も堅調に推移し、特に中国の大気汚染対策用の売上が大きく伸びました。これにより前連結会計年度増収に寄与したリフラクトリーセラミックファイバー対策用の電動ファン付き呼吸用保護具の反動減収分をカバーしました。</p>	
<p>■ その他事業 (環境関連事業等を含む) 『アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)』を訴求する営業活動を積極的に展開した結果、革新的技術の認知度が高まり、短期間の検討で受注につながる事例も増えました。販売分野、市場は着実に拡大しており、納入件数は前連結会計年度実績の1.4倍となりました。</p>	

品目区分	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
■ 防じんマスク	3,701	49.3%	3,787	48.7%	3,950	49.8%	4,282	50.6%
■ 防毒マスク	2,089	27.9%	2,008	25.8%	1,738	21.9%	2,093	24.8%
■ マスク関連その他製品	924	12.3%	1,162	14.9%	1,423	17.9%	1,207	14.3%
小計	6,716	89.5%	6,958	89.4%	7,112	89.6%	7,584	89.7%
■ その他	784	10.5%	827	10.6%	824	10.4%	875	10.3%
合計	7,500	100.0%	7,785	100.0%	7,936	100.0%	8,459	100.0%

※品目別売上高につきましては、子会社による販売がないため、親会社の数値を掲載しております。

トピックス

◇オープンクリーンシステム「KOACH」の用途が広がっています

「KOACH」は、「スーパークリーン(世界最上級の清浄度)」と「アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)」を実現するシステムとしてその用途は更に広がっています。

【不妊治療専門医療機関】

「KOACH」は、高度生殖医療(顕微授精等)で必要とされる高い清浄空間が形成できることに加え、仮に作業時に手元からコンタミナントが発散したとしても、滞留することなく排出することが出来るシステムです。

このため、手元の清浄度は高いまま維持することが可能であることや微風速の気流で清浄空間を形成するため、お預かりした貴重な受精卵を乾燥させない、また顕微授精の作業の様子を患者様にもご覧頂ける治療環境を実現できる点などが高く評価され導入に至っています。

フローコーチ(木下レディースクリニック様)



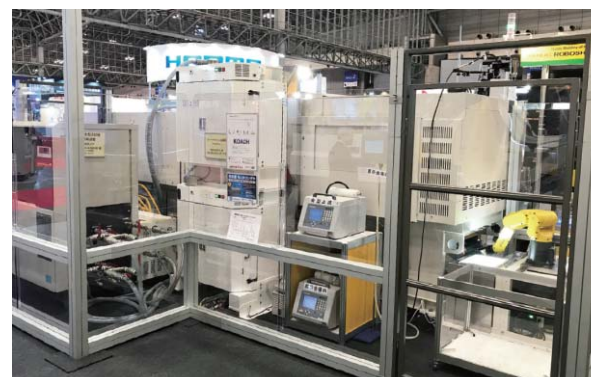
奥のプッシュフードから手前側に清浄な空気が流れてクリーン環境を形成します。途中に柱などの遮蔽物があっても気流は乱れず、空間全体で清浄度が維持されます。

【射出成形環境】

世界有数の産業用ロボットメーカーとして有名なファナック株式会社は、新しい成形ソリューションのひとつとして電動射出成形機「ロボショットシリーズ」の医療市場向けの「メディカルパッケージ」を「第9回国際プラスチックフェア」で展示されました。

「KOACH」の簡単に設置でき、かつ困わずに清浄空間を形成できる点が、成形機のクリーン化に適していると評価され、クリーンソリューションの一例としてメディカルパッケージとともに展示されました。

第9回国際プラスチックフェア(平成29年10月24日～28日開催)で展示されたファナック株式会社製電動射出成形機「ROBOSHOT α-S150iA」と「KOACH」



メディカルパッケージは、コンタミネーションに厳しい医療市場に適した成形機として、グリスが成形品に付着しにくい構造や、汚れを目立たせる白色塗装を施した仕様になっています。「KOACH」によって、金型周辺を中心に製品の搬送路までクリーン化されています。

◇平成29年度 知的財産権制度優良企業等表彰で経済産業大臣表彰を受賞しました

この度当社は、経済産業省 特許庁が実施している「知財功労賞」表彰において平成29年度の特許活用優良企業賞（経済産業大臣賞）を受賞いたしました。

当社は、新たな技術を創造し、新市場を開拓していくという企業スタイルから知財を経営戦略の中で最も重要と位置づけ、その活用を推進しております。

以下のような体制、取り組みが評価され本賞の受賞となりました。

- ・経営層参加の「知財会議」「発明審査委員会」において出願方針の決定や発明評価を実施
- ・「知的財産権管理規程」、「知的財産権査定基準」、「機密情報管理規程」の他、開発段階で既に保有する特許技術等の活用検討などを定めた「製品開発業務規程」を整備・運用
- ・知的財産の専任スタッフが、特許の先行調査結果などの情報提供及び職務発明の受付から権利の維持管理までの活動を実施
- ・実際に事業化した自社技術の発明を例に研修教材を作成して知財教育を実施
- ・特許出願時は、基本特許だけでなく周辺特許を出願し、特許ポートフォリオを構築して特許を戦略的に取得

今回の受賞を励みに、今後も当社は新たな価値を提供するための技術を生み出し、国内のみならず世界に対しても技術発信を続けることで、日本のものづくり及び産業の発展に役立つよう努めて参ります。

特許取得商品（一例）

呼吸追従形ブロワーマスク「BLシリーズ」
特許第3726886号 他



関連特許	11件
関連意匠	1件
関連商標	1件
海外特許	6件

スーパークリーン生成装置「KOACH」
特許第5127292号 他



関連特許	10件
関連意匠	4件
関連商標	4件
海外特許	21件

全自動内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍」
特許第3524077号 他



関連特許	21件
関連意匠	3件
関連商標	1件
海外特許	1件

「知財功労賞」(特許活用部門)における 経済産業大臣賞受賞企業(一部抜粋)	
平成29年	興研(株) 大阪工業大学 東海光学(株) (株)フジコー 大和製衡(株)
平成28年	旭硝子(株) デンソー(株)
平成27年	オムロン(株) 富士フイルムHD(株)

次期見通し

(単位:百万円/端数切り捨て)

次期(平成30年12月期)における我が国経済は、内外ともに変動の懸念要素が多く、益々先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループは、引き続き使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズや電動ファン付き呼吸用保護具「ブレスリンク」シリーズなどの高付加価値製品を拡販し、産業用マスクの需要掘り起こしや、医療、一般用マスクの市場シェアの拡大を着実に図って参ります。

オープンクリーンシステム「KOACH」につきましては、これまでの累計販売件数500件、販売台数800台の実績が、新規受注、リピート受注を増勢させる見通しとなっております。

以上により、次期の売上高は87億円(当連結会計年度比2.8%増)となる見通しです。

なお、利益につきましては、平成30年8月竣工予定の飯能先進技術センターの建設関係費及び減価償却費の負担増に加え、原材料費や輸送費の上昇も見込まれることから、営業利益4億50百万円(同38.0%減)、経常利益3億80百万円(同42.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3億20百万円(同35.0%減)となる見通しです。引き続き全社を挙げた売上原価の低減や販売費及び一般管理費の効率的使用に努めて参ります。セグメント別の見通しは以下の通りであります。

区分	平成29年12月期 業績実績	平成30年12月期 業績予想
売上高	8,459	8,700
営業利益	725	450
経常利益	662	380
親会社株主に帰属する 当期純利益	492	320
1株当たり当期純利益	98円19銭	63円80銭

(マスク関連事業)

当社グループは、フィット性の高いマスクの開発とともに、これらの普及のためフィットの重要性を啓発する活動を産業、医療、一般の分野で継続して参ります。

産業分野においては、需要の拡大が見込まれる電動ファン付き呼吸用保護具の販売強化を続け、医療分野では感染対策用マスク「ハイラック」シリーズの感染防止に対する優位性を伝え、全国の保健所や感染症指定医療機関等でのシェア拡大に努めて参ります。

また、一般個人用マスク「ハイラックNeo」シリーズについては、ネット通販をはじめとする国内外の新たな販売ルートを活用した販売戦略を推進します。

なお、大気汚染対策用マスクの需要は、中国の大気汚染の改善が進むことを想定し、当連結会計年度対比では大幅に減少することを予想しております。

以上のことから、売上高は73億円(同3.7%減)となる見通しです。

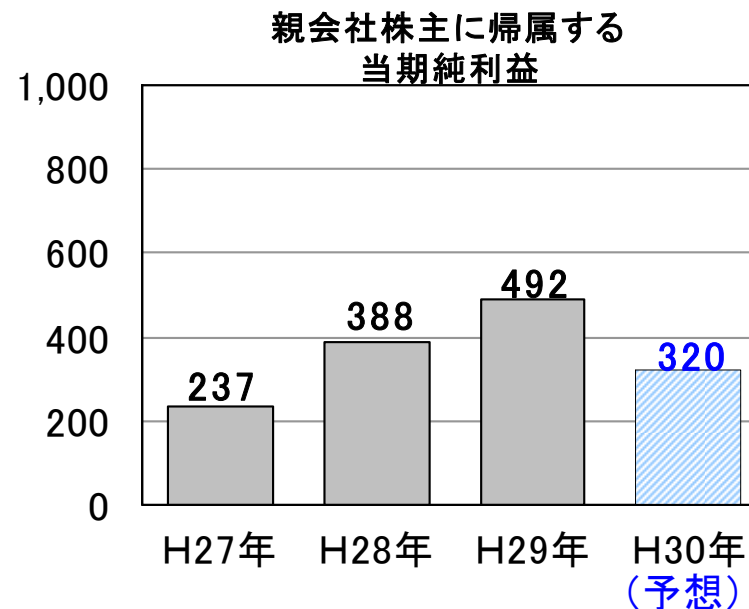
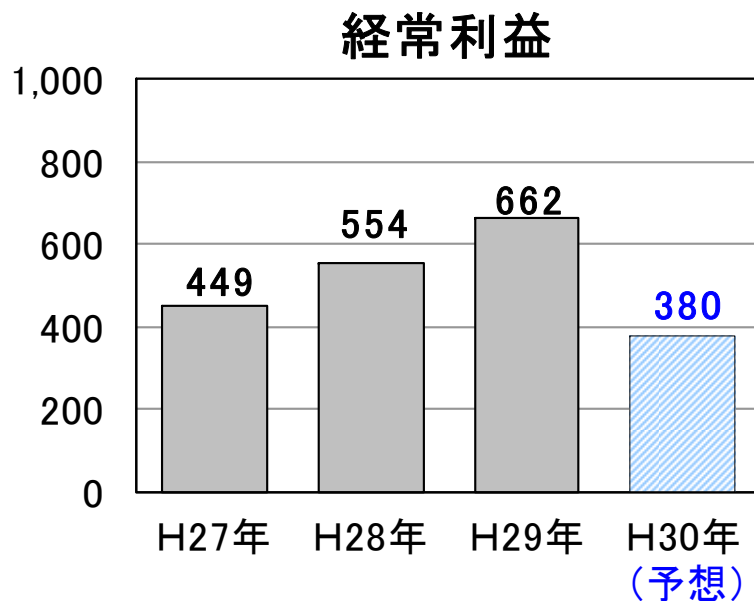
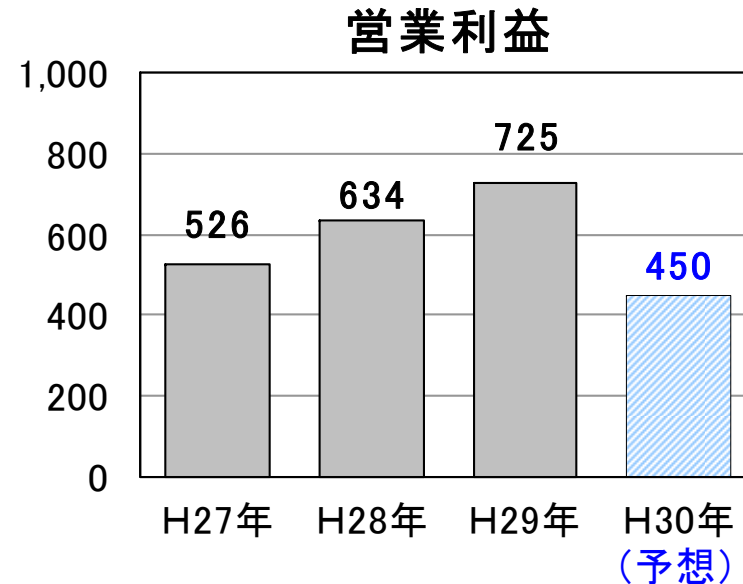
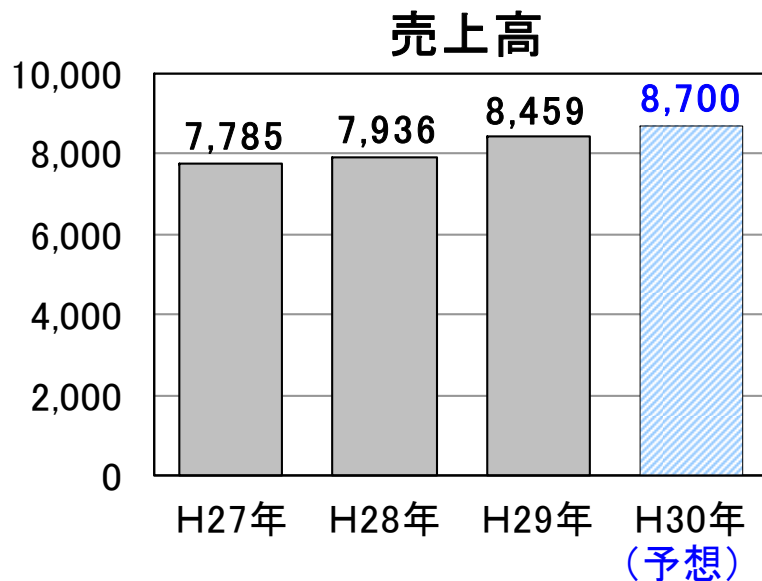
(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、『アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)』を訴求する営業活動に加え、使用環境が広がる「ステンレス仕様」及び「防爆環境対応仕様」の新製品投入などを行い、更なる販売分野・市場の拡大を目指します。

これらの事業展開により、売上高は14億円(同59.9%増)となる見通しです。

通期連結業績予想

(単位:百万円/端数切り捨て)



※平成26年12月期より、連結決算に移行しております。

本資料に記載されている業績予想数値等の将来に関する記述は、「平成29年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」発表日(平成30年2月9日)現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社
広報・IR室

TEL 03-5276-1932
FAX 03-5276-6530
Eメール ir@koken-ltd.co.jp
ホームページ <http://www.koken-ltd.co.jp/>